



トピックス

滋賀産業人クラブの平安製作所（滋賀県高島市、高橋鉄次社長、0740・27・1271）は、インドネシアの自動車部品メーカーであるパミンド（ジャカルタ市）と、技術供与などの業務提携を結んだ。まず駆動系部品のドライブプレートの生産技術をライセンス供与する。パミンドの生産拠点を生かし、東南アジアに進出している日系自動車メーカーに部品を供給する計画だ。

平安製作所は現地進出を検討していたが、投資リスクが大きいと判断し、生産拠点が有る協業先を探していた。一方、パミンドは自動車や2輪車向け部品が主力の中堅メーカーで、2012年の売上高は約42億円。日本企業の高い技術力を吸収して受注増を狙っていたため、両社の思惑が一致した。

平安製作所はドライブプレートをプレス加工で一体成形する技術を供

滋賀
製作所
平安
パミンド
(ネイン
アド)
に技術
供与

インドネシアの車部品メーカーに
技術供与するドライブプレート



与する。プレート生産量を15年に現在比2倍の年産100万個に引き上げる計画。技術者や営業担当をパミンドに派遣。技術者は生産技術のほか、現場改善手法や生産ラインの設計なども支援する。営業担当はV A（価値分析）提案の手法などを指導する。またパミンドの従業員を日本の現場で技術研修する。

現地に進出している日系自動車メーカー2社からパミンドを通じて部品供給する了承も得た。現地生産が本格化する。